

0640 | 彫 塑 I

2 単位（面接授業 2 単位）

脇谷徹教授、戸田裕介教授、山本一弥准教授

授業の概要と目標

人体の頭部を観察し、粘土（塑造）及び石膏（直付け）で彫刻を制作します。

人体頭部は古くから彫刻の主題として取り扱われてきました。また、かつて彫刻を学ぶ者にとって、人体頭部を制作することは、全身像を制作するための予備的あるいは初歩的な修業と捉えられることもありましたが、しかし、この授業において人体頭部を対象に制作する理由は、みなさんが彫刻の初心者だからではありません。自分の顔や頭はもとより、家族、通りすがりの街の人々など、毎日見て知っているとつい思い込んで「人体頭部」を深く観察することにあります。「人体頭部」に潜む個性、多様性、複雑さなどに気づき、自然のかたちや仕組みの奥深さを発見してください。日常生活の中での「見る」という行為のあいまいさ、そして「見る」ことそのものについても考える契機としてください。

この授業において重要なことは、「人体頭部」という概念をまとめ上げるのではなく、目の前にいる生身のモデルの頭部を、自分の目とおして深く観察し、そこから得たものを粘土や石膏で、かたちに置き換えてゆくことにあります。造形の世界でいうかたちとは対象にあるだけではなく、それを見て触発された自分の内に生じるものでもあります。つまり、モデルの頭部を観察すると同時に、自分が作ったかたちもよく観察する必要があります。モデルの頭部となぜ違うのか、何が足りないのか、あるいは何が多すぎるのか、と試行錯誤を繰り返し制作することが、さらに対象の観察を深めることを体験してください。

なお、彫塑 I・III ともに授業の基本姿勢は共通しているので、彫塑 I のみを受講しようと考えている人も、前提講義までに、彫塑 III のページも合わせて読んでおいてください。

課題の概要

○面接授業課題

人体モデルの「頭部」をモチーフとして、粘土及び石膏直付けにより制作します。

授業前半では粘土（塑造）により制作します。石膏型取り作業後、石膏直付けにより継続して制作します。

授業計画

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義 研究室の教育方針・課題内容・主旨の説明及び授業に必要な、道具・材料の解説及び作業上の諸注意	午後：制作（塑造）
第 2 日	午前：制作	午後：制作
第 3 日	午前：制作	午後：石膏型取り作業 夜：石膏型取り作業（～ 18:30）
第 4 日	午前：石膏型取り作業	午後：石膏型取り作業 夜：石膏型取り作業（～ 18:30）
第 5 日	午前：清掃、制作（石膏直付け）	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：清掃、講評・採点

成績評価の方法

完成作品と制作プロセス両方を、担当する全教員で評価します。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 「造形基礎 I～IV」の単位を既に修得していることを条件とします。まだ修得していない学生は同時に履修登録してください（3 年次編入学生を除きます）。

[備 考] 月刊誌『武蔵美通信』6 月号掲載のスクーリング受講に関する注意事項を熟読してください。

教材等

前提講義時に、参考作品等のスライド上映を行います。

その他

授業初日より、必ず、作業服・作業靴（運動靴可）を着用してください。